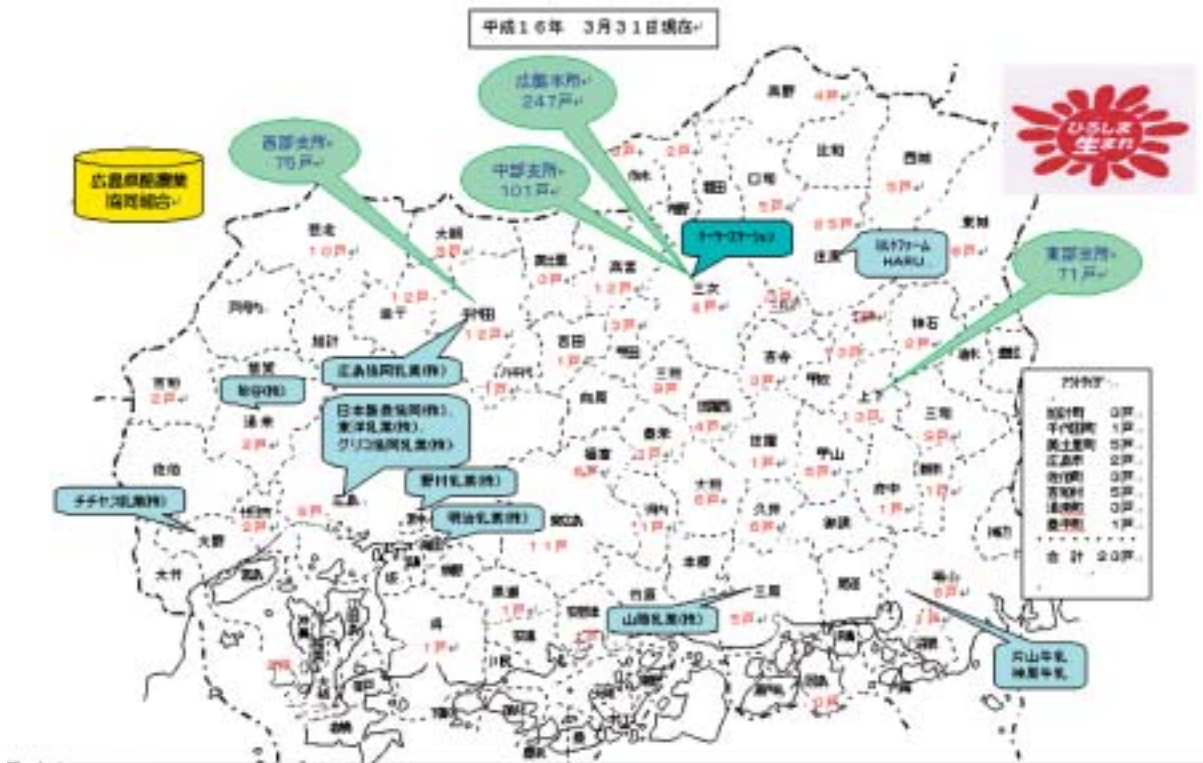


資

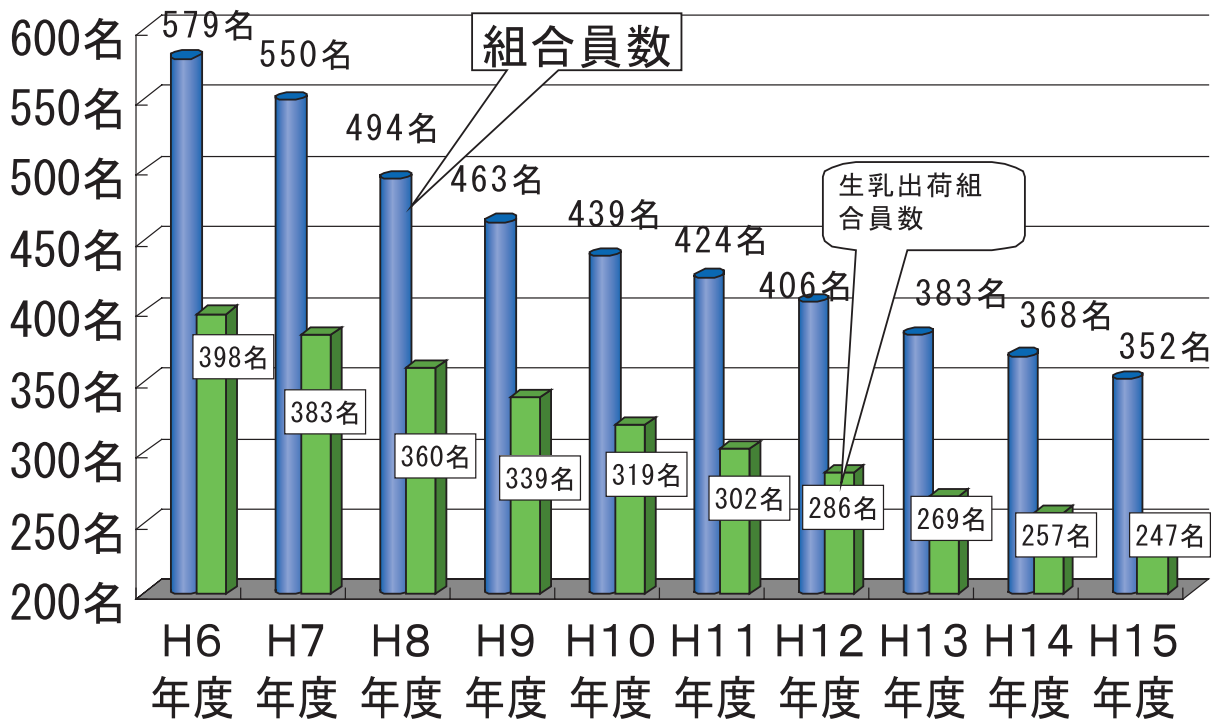
料



◆生乳出荷組合員の市町村と乳業メーカーの分布



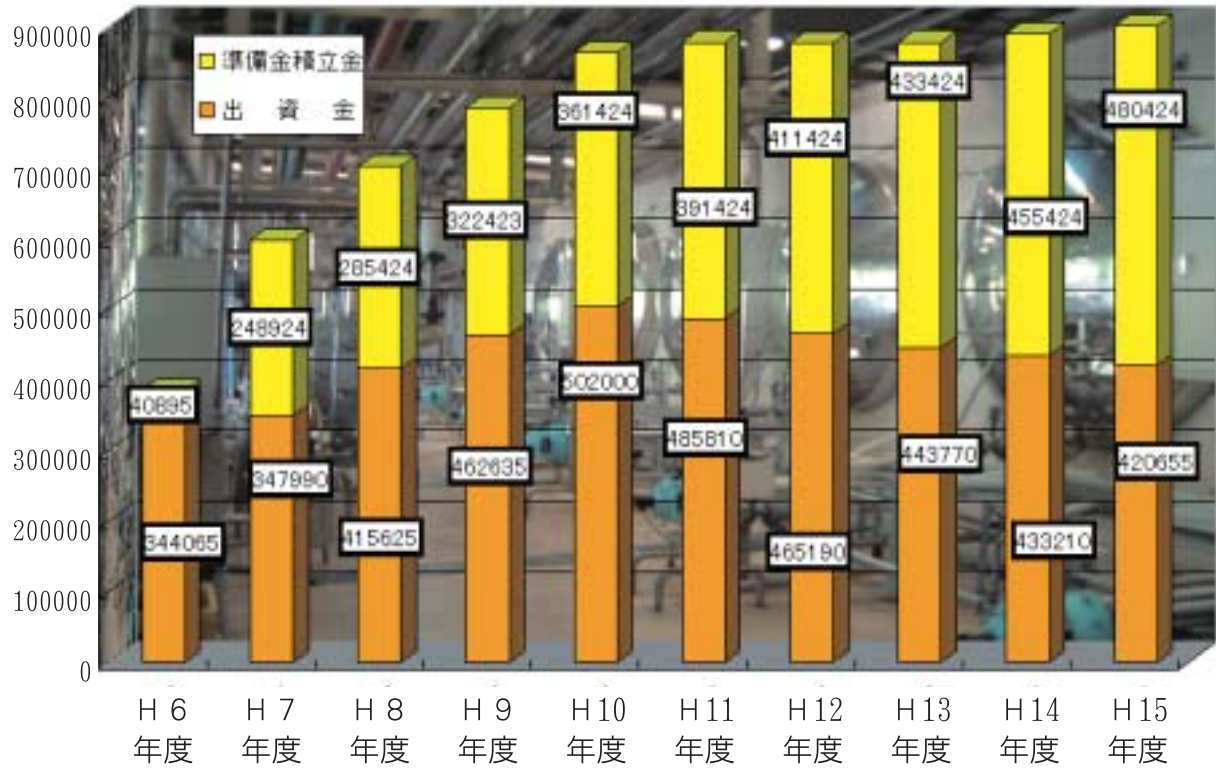
◆組合員数と生乳出荷組合員数の推移



◆組合員、生乳出荷組合員数はともに、平成6年度期末時点に比較して平成15年度では、4割減少。

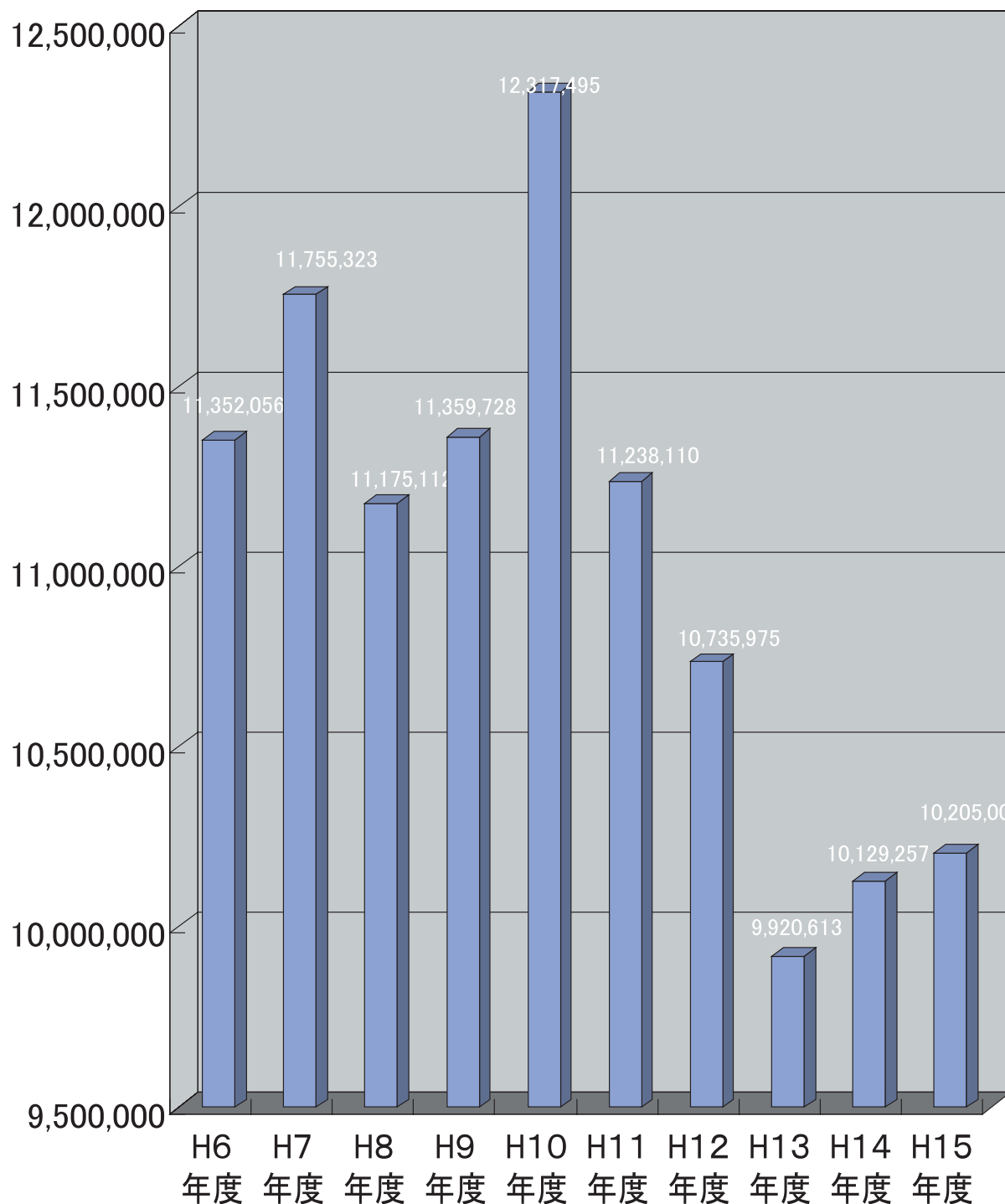
## ◆自己資本・出資金の推移

(単位：千円)



◆事業総取高の推移

(単位：千円)





◆ファクシミリを利用した広域情報伝達システム設置



平成12年	組合が設置したデータ蓄積設備に組合員の自宅からファクシミリを使ってアクセスし、情報を取り出すことができるシステム「もーもーFAX」としてスタートした。特に抗生物質反応検査など、結果に迅速性を求められる情報は、組合員に好評であり、又年間の取引高を集計した個人情報等は、所得税の申告時期などに利用が多い。
-------	--

◆ハンディーターミナルの導入

平成13年	購買品の商品管理について合理化を図るためハンディーターミナル5台を取得し、プログラムの開発に着手するとともに久井倉庫において試行的に運用を開始した。
-------	--

平成15年 中部支所へもハンディーターミナルを配置し定着を図りつつある。

ハンディーターミナル配置情報



設置場所	中部支所	東部支所	久井倉庫	システム開発用
平成13年度～		1	1	2
平成15年度～	2	1	1	1

◆パソコンによる飼料計算ソフトの導入と指導

平成9年9月	ノートパソコン1台と飼料計算ソフト（スパルタン）を導入し購買課に配置
--------	------------------------------------

平成13年6月	各支所へ飼料計算システムおよび農業会計ソフトを配置し活用を図りつつある
---------	-------------------------------------

## これまでに推進してきた中期3か年計画の概要

### 第1次中期計画 【平成8年度から平成10年度までの3年間】

1. 酪農経営の安定化対策
2. 組織の充実と指導体制の強化対策
3. 購買事業・販売事業の拡充強化対策
4. 乳業事業の統廃合による再編整備対策
5. 庶務会計管理運営体制の本所集中化等の充実
6. 組合員増資積立金（出荷生乳1kgあたり1円）3年間実施による財務充実

### 第2次中期計画 【平成11年度から平成13年度までの3年間】

1. 酪農生産基盤の強化対策
2. 需要に見合った生乳生産の強化対策
3. 広域指定生乳生産者団体構想の実現
4. 飼料・生産資材の安価供給と飼養管理技術指導等の強化対策
5. 組織体制の強化対策
6. 酪農情報体制の強化対策

### 第3次中期計画 【平成14年度から平成16年度までの3年間】

1. 酪農生産基盤の維持強化対策
2. 広域生乳需給調整機能の効率的運用
3. 飼料供給体制の改善対策
4. 発酵飼料製造体制の改善対策
5. 後継者等のグループ活動支援の充実
6. 支所・事業所・倉庫など組織体制の検討
7. 組合の自己資本充実

